

工事費積算参考資料

本資料は、入札参加者の適切な見積に資するため、発注者が用いた積算資料を参考として掲示するものであり、契約書第1条の設計図書ではありません。

従いまして、請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、設計図書に特別な定めがある場合を除き受注者の責任において定めるものとします。

なお、本資料の有効期限は、この工事の入札日までとします。

施行番号	
工事番号	第503号
工事名	井田川・能褒野処理分区下水管渠布設工事（その2）

単価適用日	令和4年4月1日		
積算基準適用版	積算基準（共通編、道路編、下水道編）令和3年7月版		
井田川・能褒野処理分区下水管渠布設工事（その2）			
一般材料地区	C00：鈴鹿		
適用単価地区	生コン	C01：鈴鹿	
	石材	C01：鈴鹿	
諸 経 費 情 報	全体 諸経費情報参照		

井田川・能褒野処理分区下水管渠布設工事（その2）			
一般材料地区		C00：鈴鹿	
適用単価地区	生コン	C01：鈴鹿	
	石材	C01：鈴鹿	
諸 経 費 情 報	全体 諸経費情報参照		

2

全 体 諸 経 費 情 報	-----	I C T補正	しない
		週休2日制の補正	しない
	共通仮設費	主たる工種	31：下水道工事（2）
		施工地域補正	一般交通影響有り（2）-2
		対象支給品費	-
		無償貸与機械等評価額	-
	現場環境改善費	計上の有無	しない
		市街地補正	-
	現場管理費	施工地域補正	一般交通影響有り（2）-2
		緊急工事補正	しない
		砂防・地滑り工事補正	しない
		対象支給品費	-
		無償貸与機械等評価額	-
	一般管理費等	財団法人等の補正	しない
		前払金割合による補正	35%を超えるもの
		契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合
	全体 諸経費情報参照		

(直接工事費計上分)

別添の「設計内訳書」、「1次単価表」等によります。

※「設計内訳書」、「1次単価表」等に記載している機械の機種など（仕様書に明示している機種を除く）は、当該機種を指定するものではなく、発注者が積算上用いた条件を明示しています。

その他

マンホール蓋、マンホール部材、副管部材等を見積りにより計上しています。

(共通仮設費計上分)

※「設計内訳書」、「1次単価表」等に記載している機械の機種など（仕様書に明示している機種を除く）は、当該機種を指定するものではなく、発注者が積算上用いた条件を明示しています。

4

1. 運搬費

運搬費の計上	(あり) ・ なし
別添の「設計内訳書」、「1次単価表」等によります。 仮設材等運搬費（往復）および仮設材等積込み取卸しに要する費用を計上しています。	

2. 準備費

準備費の計上	あり ・ (なし)

3. 事業損失防止施設費

事業損失防止施設費の計上	(あり) ・ なし
別添の「設計内訳書」、「1次単価表」等によります。 家屋調査工（家屋・外柵）に要する費用を計上しています。	

4. 安全費

安全費の計上	あり ・ (なし)

5. 役務費

役務費の計上	あり ・ (なし)

6. 技術管理費

技術管理費の計上	(あり) ・ なし
別添の「設計内訳書」、「1次単価表」等によります。	

7. 営繕費

営繕費の計上	あり ・ (なし)

(諸経費全般)

1. 支給品費の取り扱い

支給品	あり ・ (なし)

2. 処分費の取り扱い

処分費の控除	あり ・ (なし)
その他確認事項等	あり ・ なし

3. スクラップ評価額の取り扱い

スクラップ評価額	あり ・ (なし)

9

ボーリング柱状図

調査名 平成29年度 井田川・能褒野ほか3処理分区地質調査業務委託
 事業・工事名 公共下水道事業

ボーリングNo. | I N (1) N o . 4

シートNo.

ボーリング名	井田川・能褒野 (その1) No. 4	調査位置	亀山市川崎町ほか8地区			北緯	34° 53' 27.7"
発注機関	亀山市 建設部 上下水道局 下水道室			調査期間	平成30年1月15日～30年1月16日		
調査業者名	株式会社中部ウエルボーリング社 電話 (059-227-7977)	主任技師	庄村 幸久	現場代理人	加藤 万由子 コア鑑定者	庄村 幸久	ボーリング責任者 鈴木 俊晴
孔口標高	TP +39.43m	角		方		地盤勾配	
総掘進長	7.43m	度		使用機種	試錐機 YBM-05	ハンマー落下用具	半自動落下方式
				エンジン	ヤンマー NFAD-8	ポンプ	YBM GP-5

標尺	標高	層厚	深度	柱状	土質	色	相対	相対	記	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験採取	室内試験	掘進							
											深	10cm毎の打撃回数			打撃回数 / 貫入量					N 値	深	試験名	深	採取	採取	
m	m	m	m	図	分	調	度	度	事	m	m	0	10	20	30	40	50	60	m	度	番号	方法	度	月	日	
1					砂混じりシルト	黒褐	軟らかい		黒ボク土 粘り気低い。φ5mm以下の細粒混入 φmax=10mm位 G1-Q.8~1.2m間にシルト混じり砂を挟む 腐植物混入。水気中～高位	1/15 1.73	1.15	1	1	2	4	4.0										
2	36.73	2.73	2.70		砂	暗灰褐	中位～密な		礫はφ2～10mm程度主体。礫径不均一 砂岩・頁岩・花崗岩質の亜角～亜円礫 マトリックスは砂で砂分の含有率は低い 水気多く地下水帯水層を成す 若干泥水の透水がある 上部5m付近はシルト分優勢である 深度方向に砂分多くなる傾向にある 砂は細砂が主体 腐植物若干混入 水気が多い		1.43	1	1	2	4	4.0										
3					砂礫	暗灰褐	中位～密な				2.45	8	9	7	24	35.0	3.00									
4					シルト質砂	暗灰	緩い				3.15	13	12	10	35	35.0	3.50									
5	34.43	2.30	5.00		砂礫	暗灰	緩い				4.15	2	2	2	6	6.0										
6					砂礫	暗灰	緩い				5.15	3	2	4	9	9.0										
7	32.63	1.80	6.80		砂礫	暗灰	緩い				6.15	13	20	17	50	50.0										
8	32.00	0.63	7.43		砂礫	暗灰	緩い		礫はφ2～10mm程度 花崗岩質・砂岩・チャートの亜角～亜円礫が主体 砂は中粗砂が主体 水気多い		7.15	13	20	17	50	50.0										
9											7.43															